はるっこだより

2021 夏号

病児保育所はるっこ
2021.7.28
七飯町本町6-7-42
はるっこどもクリニック隣
はるっこ ☎ 0138-65-1500

はるっこ畑も夏まっ盛りです。クリニック往診の帰りに、いちご狩りの次は、スナップエンドウ狩りをしてもらいました。もうすぐ、トマト、パプリカ、とうもろこし、そして枝豆が出番を待っています。畑の脇の坂道を上っていくおばちゃんたちが、私たち保育士の畑の先生。いろいろ教えてくれます。「ここみるの楽しみだもん。いつもみてるよ」ですって。嬉しい言葉です。 せいこ

はるっこある日のスナップ

保育士と並んで手を洗っているとき
3歳Aくん
「A、おとなになったらあっちであらう」
まってるよ 浩

壁の上の方にいるアリを外に出してあげたくて保育士は手を伸ばしますが、届きません。すると2歳Bちゃんは、隣の部屋へ行き、両手で木の箱椅子を抱えて持ってきました。そして先のアリがいたところを指さしていました。「ここに上りなよ」と教えてくれているようでした。

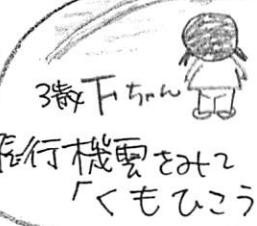
3歳Cちゃん
クワコのふたを開けたときの言葉。
「いろんな色があるぴっかぴか！」

3歳Dちゃんは保育士が箱椅子に腰掛けると、「せなかないからね」(気をつけてね)と、言ってくれました。
その言葉が、すっと出るなんてすてきだなあ

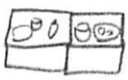
「大きくなったら、なにになりたい？」
3歳Eちゃん「およめさん！
・・・でもお母さん、泣いちゃうよ」

3歳Gちゃんは、両手を腰に当て、胸をはって言います。
「おまめごはん、つくろうねっ！」
「すこしになったら言ってねー」
「おかわりかい？」
「これ、みんなのだからねー」
そして「ちょっとおかあさん、おしごといってきます」と言い、お人形のボタンを外すおしごとにとりかかっていました。 自信に満ちたその姿、まぶしい☆

4歳Hくん
←コマを回して、
「すごいっ！
4こがぶこになった！」



3歳Fちゃん
飛行機雲をみて
「くもひこうき！」
なんだかすてきな言葉



Iくんは「さかな、すきすぎるんですから」と言う程、魚のことを保育士に教えてくれます。
「どうやって勉強したの？」
Iくん「それは脳みそがいいから！」
そして「かんがえないひとがペットにする」とも。
おとなといて ドキっとする言葉でした。

3歳Iくん

おやつのクレープパンをみて
「おやつはやっぱりこれだな」

カタカタぞうさんをやりながら、
「なんで坂しか歩かないの？」
と気付いた3歳Jくん。
そのあと、コロコロカメさんをよーく観て、保育士にどうやって歩くかを一生懸命説明しようとしています。
はやなちゃん「なんでわかったの？」
Jくん「みえちゃったの。」

3歳Kくんは、「だましぶねつくれる」と言い、折り紙をテーブルに持ってきました。1枚は自分のところに、もう1枚は向い側に置きました。
「はやなちゃんの？」Kくん「うん。こうやって…」と保育士がみえやすいように説明が始まりました。
途中、折り方がわからなくなると「あ、かぶとをつくろう」と、作るものが変わっていくのですが、Kくんは1枚の折り紙で、何度も折り直していました。100均で買える世界に慣れてしまっていました。

お昼ごはんは木陰でピクニックすることになりました。「準備してー」と保育士に言われ、まず初めに3歳Lくんのしたことは、カバンからお気に入りのシャツを出して着替えていました☆

「またあそぼうねー」「またくるからねー」とおうちに帰っていきます。子どもにとってはるっこは非日常の空間だときっとわかっているのでしょう。だからめいっぱい遊びたいし、楽しみたい。そんな感じが伝わってきます。 せいこ